

株式会社ジェイコム八王子

放送番組審議会 議事録

平成 28 年度（2016 年度）株式会社ジェイコム八王子 番組審議会は、2017 年 3 月 21 日(火) ジェイコム八王子局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

細谷 幸男 様
鎌田 正純 様
相原 悦夫 様
清水 栄 様
中部 いずみ 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：相原会長

■「八王子商工会議所アワー」について

委員

「八王子商工会議所アワー」ではずいぶん長い期間、内容の精査など番組に携わってきている。これだけ経済の流れが激しい中で簡単なことではないが、今後も商工会議所ならではの番組を J:COM と作っていきたい。

委員

八王子商工会議所は明治年間に設立され、東京でも古い歴史を持っている。商工会議所の存在や活動の経緯などを織り交ぜていくと厚みが出てくると思う。

■「デイリーニュース」について

委員

番組で紹介するニュースは視聴者からの要望とスタッフのリサーチによるもの、どちらが多いのか？

事業者

半々ぐらいだが、一度取材でお邪魔したところからの情報提供も多い。

口コミや取材依頼に頼りきりだと案件が偏ってしまうので、スタッフでもネタをストックするように努め、市民の関心の高い事案や多くの人に見て頂けるトピックを都度ピックアップしている。

委員

しっかりとした地域の情報が多く、「デイリーニュース」の名に相応しい番組内容だと感じる。

ただ、ニュースの宿命として淡々と流れていってしまうので、インパクトある画づくりなど工夫の余地はある。

委員

いつもイベントの取材をお願いする立場だが、やはり番組に取り上げられると普段視聴していない方でも見てくれることが多い。マラソンなどの中継でも知った顔があるか気になって、つい見てしまう。

「知人が出ているから見る」をもう一步進めて、ニュースをアーカイブ的に見直せるようにすると良いのでは？
地域発信の情報をエリア外の方でもご覧になれるようになると広がっていくと思う。

委員

「デイリーニュース」や「八王子人図鑑」で提供される内容は、かつて三大新聞や地方紙で知りえた情報であり、電波の役割が拡大していると実感する。新聞に載らないような情報もコミュニティチャンネルで広く知ってもらうことで、新しいコミュニティの形成に役立つだろう。

八王子の人口は約 56 万人で面積も広い。中心部と周辺部の温度差を補うよう、「魚の眼」のような動的な視点を持った番組作りを考えてみてはどうか。

事業者

「デイリーニュース」ではイベントの事後パブリシティが多くなってしまっているので、今後は週末のイベントを前広に紹介するなど「過去」ではなく「未来」を多く取り上げていきたい。

また、今後新しく商業施設ができると街がどう変わっていくのか…といった暮らしの変化こそ市民が知りたい事象だと思うので、そうした事案を積極的に特集していく。

委員

前広な告知により「デイリーニュース」の価値も向上していくと思う。

委員

「デイリーニュース」は隣接する日野市の情報もわかるので役立っている。広域的な見地からの情報発信は

有意義だ。

■「はちおうじタウンナビ」について

委員

広報課から年に5～6本お願いしているが、J:COMにはもっと「テレビのプロだからこそその提案」を行って欲しい。八王子の良い場所、良いところをダイレクトに感じてもらえるのが映像の利点なので、その強みを活かした行政の広報番組を充実させていきたい。

■「八王子夢街道駅伝」について

委員

エンドロールなどで順位や名前を出してあげると、出場者にとっては思い出となるし規模感も伝わるはず。ダイジェスト放送だったが、出場者だけでなく主催側のインタビューも織り交ぜられており楽しめた。

■「八王子人図鑑」について

委員

歴史上の人物を取り上げることはできないだろうか？

知られざる八王子の発展に尽力した人物を紹介するのも面白い試みになると思う。

■コンプライアンスに関して

事業者

アーカイブ化の構想は出ているが、個人情報や肖像権の問題が大きく立ちはだかっている。

子供の映り込みに敏感な親御さんも多く、名前をテロップで出すことさえ難しい時代になってきた。

「第8回中学生 東京駅伝大会」の生中継に際しては、まず各区の教育委員会を説得したうえ、各中学校を回って出場する全生徒に許諾書を書いてもらい、1名を除き撮影の許可を得ることができた。

特番やダイジェストなどは1回だけだと見逃してしまうので、最大4回の再放送を行ったり、自社運営のフリー・オン・デマンドで期間を半年間に限定した配信を行ったりしている。

委員

個人情報や肖像権をクリアしないと放送に出せなくなり、それが作り手のジレンマでもある。

昔は高校入試の合格発表は新聞に実名で掲載されていたものだ。かつての新聞の役割をテレビが担っている現代において、プライバシーの問題も大きいですが、テレビ画面の中に自分の存在が現れると視聴意欲となるはず。

委員

今は SNS 全盛期で個人が発信できるようになった。情報がここまで規制されていない時代のメディアには、情報リテラシーに接することができるなど教育効果もあったのではと感じる。

■ J:COM テレビに関して

委員

八王子の事案を全国放送にしてもらいたい場合はどうすれば良いのか？

事業者

J:COM テレビの編成担当に希望を出して承認されたら放送、というプロセスを経ている。毎年リクエストを受けて、検討、実施されている。

委員

「ご当地サタデー ♪」には市長を出演させて頂き、ゲストにヒロミさんを迎えて、当事者としてはすごく面白かった。だが、客観的に約 1 時間の番組だと考えると、もっと八王子の魅力を伝えることができたのではないかと思う。行政からの提案も足りなかったが、地域密着の J:COM ならではの掘り下げた意見も欲しかった。

■ 編成に関して

委員

姉妹都市の情報を流す番組を J:COM で放送できたら面白い。例えば、「北條三兄弟三領共同宣言」を結んでいる小田原市のニュースが知りたい方もいると思う。地上波だと扱うエリアが広すぎて難しいと思うが、緊密なブロックで連携している「ど・ローカル」路線の J:COM だから可能であり、意義がある。

委員

八王子市の広報紙は月 2 回のペースで出ているので、J:COM と併せて 2 つのチャンネルで訴求すれば紙媒体を見ない人は J:COM、テレビを見ない人は広報紙と双方を補完できる。

委員

八王子市は歴史・伝統・文化があり、ポテンシャルが高い街だと思っている。都心に出るのも容易でありながら、豊かな自然に囲まれた八王子だから可能な生活スタイルが魅力なので、移住してくる方も多い。長く住むと当たり前になってしまい、良さを見失ってしまいがちだが、「ど・ローカル」だからこそできる有益な街の魅力や歴史を掘り下げた番組を作ると活性化につながり、好循環を生むと思う。

委員

今年は八王子の市制 100 周年でありエポックになるだろう。市と市民が一体となって記念事業が多数開

催されるので、コミュニティチャンネルを通じて市制 100 周年とレガシーを実感できる編成に期待したい。

委員

プロジェクション・マッピングを 8 月に企画しているので、たくさんの市民に是非 触れて頂きたい。

委員

前向きな人が多く、協力し合うのが八王子の特色なので、シニアやハンディキャップを持つ方々、子供に至るまで八王子に暮らす人に街の魅力が伝わるような編成を望む。

委員

市制 100 周年は特別な年。八王子に生まれ育った者としては、昭和期に行われていた歩行者天国の写真を見ただけでジーンときてしまう。「こんな街だった」「こうして発展してきた」という歴史を織り交ぜた企画に期待している。

事業者

非常に納得感のある指摘と努力目標を頂いたので、来年以降に活かしていきたい。

情報を事後ではなく前広に出していくなど、見ると生活が楽しくなるような番組作りを心掛けていく。

以上